

学生と企業の協働を始めたい・広げたい方へ

産学共創PBL カンファレンス 2026

実践事例を知り、連携先候補と直接相談できる。
出会いを次の連携につなげる一日。

開催 2026年11月30日(月) 13:30-16:30

会場 名城大学 ナゴヤドーム前キャンパス
社会連携ゾーン shake

参加無料

**01****基調講演**

産学連携・PBLの実践知を聞く

02**クロストークセッション**大学・高校・企業の実践者が
テーマ別に発表・クロストーク**03****マッチングセッション**関心の近い相手と対話し
次の一歩をつくる

▶ 詳しいタイムテーブルは裏面へ

こんなお悩み、ありませんか？

連携相手探しが
個人の人脉に依存していて大変…

連携が単発で終わり
カリキュラムに根付かない

学習効果の高さと連携先の
満足度を両立するのが難しい

イベント内で企業との
つながりを広げられる

仕組み化・カリキュラム化の
具体例を知れる

学習効果と満足度を両立した事例を
知り、自大学で使える手法が増える

基調講演**地域OSとしてのPBL:大学・企業・地域の連携による人材育成の試み****登壇：中谷 真憲氏**京都産業大学アントレプレナーシップ学環学環長・法学部教授
NPO法人グローバル人材開発センター専務理事兼事務局長

NPO法人グローバル人材開発センターの設立代表者として、京都の大学・経済団体・企業・行政と連携し、人材育成に取り組む。京都産業大学では、法学部とアントレプレナーシップ学環を兼務し、企業等と連携したPBL科目等を開発、担当。学生が実際の企業や地域の課題に取り組む授業を行ってきた。

+ カンファレンス後も、無料で伴走します

PBL推進アドバイザーが大学・高校を訪問し、連携先探しからカリキュラム設計・単位化、実施、振り返りまでを継続サポート。大学と企業の双方に精通したアドバイザーが、各校・各社の事情に合わせて伴走します。愛知県内の企業・大学等は無料でご活用いただけます。

当日の流れ

13:30-13:40	開会あいさつ・趣旨説明
13:40-14:25	基調講演（中谷 真憲 氏）
14:25-15:15	第一部 クロストークセッション
15:15-15:25	休憩
15:25-15:35	第二部の進め方・各ブース紹介
15:35-16:20	第二部 マッチングセッション
16:20-16:30	クロージング

実施概要

日時	: 2026年11月30日(月) 13:30-16:30
会場	: 名城大学 社会連携ゾーン shake
アクセス	: JR 大曽根駅 徒歩8分
対象者	: 愛知県内の教育機関関係者／ 企業の経営者・人事など／自治体ほか
定員	: 100名（要申込・先着順）
参加費	: 無料
申込	: https://forms.gle/eGJM9azVwUWeWCyJ9

第一部 | クロストークセッション

関心のあるテーブルを1つお選びいただけます。各テーブル2つの事例をクロストーク形式で、実装のリアルを深掘りします。

A

高校探究・高大連携型PBL

探究を学校の外へ、実社会の学びにつなげる

高校生の探究を校内で終わらず、地域・企業・大学との協働や実践へどうつなげるか？学びを実社会へ広げるプログラム設計と外部連携の仕組みを考えます。

事例：愛知県立足助高等学校
愛知県立春日井泉高等学校

B

学内の多様な資源をどうつなぐ？

PBLを生み出す仕組みとコーディネート

学部・共通教育・ゼミ・課外活動など学内の多様な資源を、継続的なPBLや企業連携につなげるには？窓口機能、学内調整、コーディネート、運営体制、カリキュラムを考えます。

事例：名城大学 社会連携センターPLAT
金城学院大学 Kプロジェクト

C

企業を知り魅力を言葉にするPBL

取材を学びと企業価値につなげる

学生が企業を取材し、その価値を自らの言葉で表現するには？企業理解や言語化の学びにつなげ、企業にも新たな視点を返す、双方に価値あるやり方考えます。

事例：愛知淑徳大学 渡邊ゼミ「産学共創ブランディング」
新東通信「学生が選ぶ愛知の企業100選」

D

企業等の課題解決に取り組むPBL

実社会の課題を学びに変える

企業・地域のリアルな課題を題材に、学生が調査・分析・企画・実践などを通じて課題解決に取り組むには？実社会の課題と実践を主体的な学びにつなげるプログラム設計を考えます。

事例：愛知工業大学 つながるプロジェクト
ほか県内大学1校（調整中）

第二部 | マッチングセッション

これから取り組みたいPBLプログラムや科目・テーマを持ち寄り、大学・企業・自治体の垣根を越えて語り合う時間。「一緒にやってみたい」と思える相手と、その場で出会えます。具体像がまだ固まっていなくても大丈夫です。PBL推進アドバイザーが間に入り、当日の出会いを次の一歩（個別の相談・打ち合わせ）へとつなぎます。



学生と企業の協働を始めたい・広げたい方へ

産学共創PBL カンファレンス 2026

実践事例を知り、連携先候補と直接相談できる。
出会いを次の連携につなげる一日。



開催 2026年11月30日(月) 13:30-16:30

会場 名城大学 ナゴヤドーム前キャンパス
社会連携ゾーン shake

参加無料

PBLとは？

企業・地域など実社会の課題に学生がチームで取り組む実践型の学び。
取材型・商品開発や広報戦略の企画提案型・新規事業立ち上げなど多様な領域で活用されています。

01

基調講演

産学連携・PBLの実践知を聞く

02

クロストークセッション

大学・高校・企業の実践者が
テーマ別に発表・クロストーク

03

マッチングセッション

関心の近い相手と対話し
次の一歩をつくる

▶ 詳しいタイムテーブルは裏面へ

こんな企業・ご担当者様におすすめ

【育成】

事業戦略はあるが、
それを担う人材の育成や
現場づくりが追いついていない

【採用・ブランディング】

自社の魅力や強みを
言語化し、社内外に伝えたい

【事業戦略】

サステナビリティ推進など
全社横断のテーマで
最初の一手が決まらない

基調講演

地域OSとしてのPBL:大学・企業・地域の連携による人材育成の試み



登壇：中谷 真憲氏

京都産業大学アントレプレナーシップ学環学環長・法学部教授
NPO法人グローバル人材開発センター専務理事兼事務局長

NPO法人グローバル人材開発センターの設立代表者として、京都の大学・経済団体・企業・行政と連携し、人材育成に取り組む。京都産業大学では、法学部とアントレプレナーシップ学環を兼務し、企業等と連携したPBL科目等を開発、担当。学生が実際の企業や地域の課題に取り組む授業を行ってきた。

+ カンファレンス後も、無料で伴走します

PBL推進アドバイザーが企業等を訪問し、連携先探しからプログラム設計、実施、振り返りまでを継続サポート。
大学と企業の双方に精通したアドバイザーが、各校・各社の事情に合わせて伴走します。
愛知県内の企業・大学等は無料でご活用いただけます。

当日の流れ

13:30-13:40	開会あいさつ・趣旨説明
13:40-14:25	基調講演（中谷 真憲 氏）
14:25-15:15	第一部 クロストークセッション
15:15-15:25	休憩
15:25-15:35	第二部の進め方・各ブース紹介
15:35-16:20	第二部 マッチングセッション
16:20-16:30	クロージング

実施概要

日時	: 2026年11月30日(月) 13:30-16:30
会場	: 名城大学 社会連携ゾーン shake
アクセス	: JR 大曽根駅 徒歩8分
対象者	: 愛知県内の教育機関関係者／ 企業の経営者・人事など／自治体ほか
定員	: 100名（要申込・先着順）
参加費	: 無料
申込	: https://forms.gle/eGJM9azVwUWeWCyJ9

第一部 | クロストークセッション

関心のあるテーブルを1つお選びいただけます。各テーブル2つの事例をクロストーク形式で、実装のリアルを深掘りします。

A 高校生の探究に企業はどう関われる？

探究を学校の外へ、実社会の学びにつなげる

商品開発や地域の魅力発信など、高校生の探究には企業の課題・資源を活かせる可能性があります。テーマ提供や対話、共同実践など、関わり方を事例から紹介します。

事例：愛知県立足助高等学校
愛知県立春日井泉高等学校

B 自社に合う大学連携をどう見つける？

大学と企業を「つなぐ機能」をどう活かすか

企業の課題やアイデアを、大学の多様な学部や授業・ゼミ・課外活動とどう結びつけ、共創へと形にするのか？
大学と企業をつなぐ機能と可能性をご紹介します。

事例：名城大学 社会連携センターPLAT
金城学院大学 Kプロジェクト

C 企業を知り魅力を言葉にするPBL

学生の視点で、自社の魅力を再発見する

社内では当たり前の仕事の価値や強みも、学生の取材や問いで違って見えてきます。取材・対話・分析を通じて魅力を捉え直し、記事・プレゼン・動画等にする連携の形を紹介します。

事例：愛知淑徳大学 渡邊ゼミ「産学共創ブランディング」
新東通信「学生が選ぶ愛知の企業100選」

D 企業等の課題解決に取り組むPBL

リアルな課題を学生と共に考え、試す

企業や地域が抱える実際のテーマに学生が向き合い、解決策を提案したり、実際に試す・形にする。新たな視点・発想を得るだけでなく、課題を捉え直す機会になるPBLを紹介します。

事例：愛知工業大学 つながるプロジェクト
ほか県内大学1校（調整中）

第二部 | マッチングセッション

これから取り組みたいPBLのアイデアやプログラムを持ち寄り、大学・企業・自治体の垣根を越えて語り合う時間。

「一緒にやってみたい」と思える相手と、その場で出会えます。具体像がまだ固まっていなくても大丈夫です。

PBL推進アドバイザーが間に入り、当日の出会いを次の一步（個別の相談・打ち合わせ）へとつなぎます。

